

ミニ模擬店「平の山横丁」で、楽しいひと時を過ごしました。

コロナで色々な行動制限が続いてきたこの3年間でしたが、利用者の方々に少しでも楽しんだ時間を過ごしてもらいたい気持ちから、職員が出店の店員となり、お祭り気分を楽しんでもらいました。焼きそば・どんどん焼き・焼きシュウマイ・アメリカンドック・かき氷・そば等が出されました。家族からの協力も頂き、当てくじや射的でも楽しんでいました。今後、可能な範囲でレクリエーション活動を再開していきたいと思えます。



作業風景

就労継続支援B型事業所として、利用者の方々が生産活動等を通して一人一人が豊かな心での生活を過ごせることを目的として取り組んでおります。

利用者の方々は、受託作業班と木工作业班に分かれて、熱心に作業に取り組まれています。黙々と熱心に作業に打ち込む姿に頭が下がる思いです。

受託作業班

近隣の会社等からの仕事を受けて取り組んでいます。箱折りや部品の袋詰め等を主に行っています。最近では、刺繍会社から衣類の袋出しや袋詰めの仕事を引き受けることとなりました。



木工作业班

発達検査用具セットの作成を主として取り組んでいます。また、鍋敷きやペン立て等の日用品や、県地図パズルや日本地図パズル・積み木等の製品も作成しています。「木のぬくもり」が感じられる製品となっています。

